

2023 年度

決算公告

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

株式会社フォワードワークス

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	159	流動負債	782
現金及び預金	0	借入金	283
売掛金	66	未払金	278
仕掛品	0	未払費用	3
原材料及び貯蔵品	0	未払法人税等	0
前払費用	0	前受金	176
未収入金	91	預り金	27
		賞与引当金	13
固定資産	622		
(有形固定資産)	(0)	負債合計	782
工具、器具及び備品	0		
(無形固定資産)	(426)	(純資産の部)	
商標権	2	株主資本	△1
ソフトウェア	76	資本金	10
ソフトウェア仮勘定	346	資本剰余金	382
その他	0	資本準備金	382
		利益剰余金	△393
(投資その他の資産)	(195)	その他利益剰余金	△393
繰延税金資産	195	繰越利益剰余金	△393
		純資産合計	△1
資産合計	781	負債及び純資産合計	781

個別注記表

2024年3月31日

<継続企業の前提に関する注記>

当社は、当事業年度において1,023千円の債務超過になっております。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社は当該状況を解消・改善すべく、2025年度リリース予定の新規大型ゲームを製作中です。上記のほかにも、事業計画を着実に実行することで財政状態の改善を図ります。そして、親法人からの支援・協力を継続して得るべく、誠実に説明を重ねてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認識しております。

なお、計算書類及び附属明細書は継続企業を前提として作成しており、このような重要な疑義の影響を計算書類及び附属明細書には反映しておりません。

<重要な会計方針に係る事項に関する注記>

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

①仕掛品(マスターテープ・ジャケット・映画制作費)	個別法による原価法
②貯蔵品	最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く).....定額法

(2) 無形固定資産(リース資産を除く).....定額法

ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金 役員および従業員に対する賞与支給に備えるため、将来の支給見込み額のうち当期の負担額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、スマートフォン向けのゲーム配信プラットフォームや、スマートフォン向けアプリマーケット等を通じて、モバイルゲームを配信しており、ユーザーに対し、ゲームは無料で提供し、ゲーム内で使用するアイテム等を有料で提供しております。当該サービスにおいては、顧客であるユーザーが当該アイテム等を用いてゲームを行い、当該グループがアイテムごとに定められた内容の役務の提供を行うことで、履行義務が充足されるものと判断しております。そのため、顧客によるアイテム等の利用時点で売上を認識しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) グループ通算制度 グループ通算制度を適用しております。

<収益認識に関する注記>

1. 収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

<株主資本等変動計算書に関する注記>

1. 当事業年度の末日における発行済株式の総数

普通株式 2,000 株

2. 当事業年度に行った剰余金の配当に関する事項

該当ありません。

<その他の注記>

1. 計算書類についての注記

① 本計算書類中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てております。また、前年度比増減率等の比率は表示桁未満を四捨五入いたしております。

なお、当該金額が表示単位未満である場合は「0」で表示し、該当金額がない場合は「-」で表示しております。

② 1株当たり当期純利益および1株当たり純資産につきましては、表示単位未満を四捨五入しております。

③ 課税取引に係る期末残高には消費税等が含まれています。